

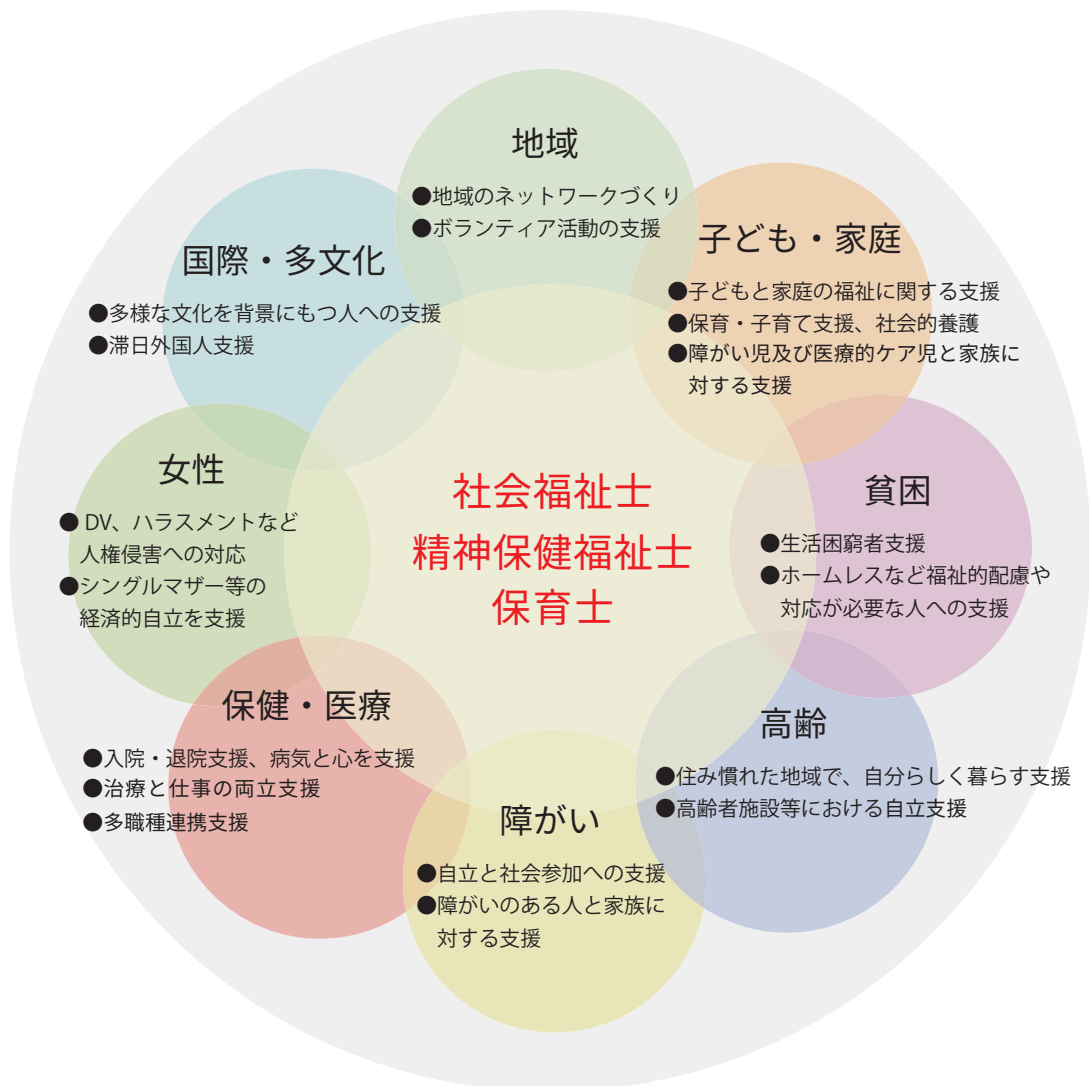
福祉社会学科

キャリアデザイン・ポリシー

福祉・保健・医療の専門的知識・技術、倫理観を基盤に、国内外における社会的課題を解決し、人々の幸福と社会の発展に寄与できる人材を育成します。

1. 社会福祉の専門的知識・技術を修得し、地域社会において多領域で活躍するソーシャルワーカーを養成する。
2. 保育とソーシャルワークの知識と技術を修得し、子育て支援、家族支援のできる保育士を養成する。
3. 国際・多文化社会における福祉課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション力を有し、福祉社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

【福祉社会学科の学びと活躍の場】



福祉社会学科

<社会福祉士：目指す職業と履修モデル>

※ SW:ソーシャルワーカー

保健医療福祉系	高齢者福祉系	障害者福祉系	地域・国際福祉系	福祉行政系 (国家公務員・地方公務員)
<ul style="list-style-type: none"> ● 国公立医療センター (医療 SW) ● 大学病院 (医療 SW) ● 一般病院 (医療 SW) ● 診療所 (医療 SW) ● 介護老人保健施設 (医療 SW) ● 在宅療養支援診療所 (医療 SW) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括支援センター (社会福祉士) ● 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設 (生活相談員) ● 居宅介護サービス事業所 (生活相談員、介護従事者) ● 福祉用具貸与事務所 (福祉用具専門相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者支援施設 (生活支援員) ● 居宅介護事業所 (障害者・児居宅介護従事者、生活相談員) ● 就労移行支援事業所 (就労支援員、生活支援員) ● 指定相談事業所 (相談支援専門員) ● 発達障害者支援センター (生活支援員、生活相談員) ● 就労支援機関 (職業相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉協議会 ● 独立型社会福祉士事務所 ● 福祉系民間企業 ● 特例子会社 ● 生活協同組合 ● 独立行政法人国際協力機構 (JICA) ● 非政府組織 (NGO) ● 特定非営利活動法人 (NPO) ● 教育機関 (スクールSW) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般行政職、家庭裁判所調査官、保護観察官 ● 身体・知的障害者更生相談所 (身体・知的障害者福祉司) ● 児童相談所 (児童福祉司) ● 婦人相談所 (婦人相談員) ● 福祉事務所 (ケースワーカー) ● 県庁・市区役所 (福祉職) ● 子ども・若者総合相談センター (社会福祉士、精神保健福祉士)

大学院

社会福祉士

4 年 次	ソーシャルワーク演習V(専門)		卒業論文 専門演習II A・II B	専門特別実習	一般 教養 科目 ・ 外国 語科 目 ・ 文化 講座
3 年 次	ソーシャルワークの理論と方法III(専門) ソーシャルワークの理論と方法IV(専門) 刑事司法と福祉	ソーシャルワーク演習III(専門) ソーシャルワーク演習IV(専門) ソーシャルワーク実習指導II・III ソーシャルワーク実習	専門演習I A・I B	スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2 年 次	ソーシャルワークの理論と方法I・II 地域福祉と包括的支援体制II 保健医療と福祉 社会保障I・II 社会福祉調査の基礎	貧困に対する支援 福祉サービスの組織と経営 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習I・II(専門) ソーシャルワーク実習指導I	福祉英語II	社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1 年 次	社会福祉の原理と政策I・II ソーシャルワークの基礎と専門職I・II(専門) 地域福祉と包括的支援体制I 高齢者福祉 障害者福祉	児童・家庭福祉 医学概論 心理学と心理的支援 社会学と社会システム	ソーシャルワークプロジェクトI・II 福祉英語I 基礎演習	女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	
	社会福祉士科目		学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

<社会福祉士・精神保健福祉士：目指す職業と履修モデル>

※ SW:ソーシャルワーカー

保健医療系	福祉行政系 (国家公務員・地方公務員)	地域・精神保健福祉系
<ul style="list-style-type: none"> ●精神科国公立医療機関（精神科 SW） ●精神科民間医療機関（精神科 SW） ●精神科クリニック（精神科 SW） ●在宅療養支援診療所（医療 SW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●法務省（社会復帰調整官） ●保健所（精神保健福祉相談員） ●精神保健福祉センター（精神保健福祉相談員） ●ハローワーク（相談員） ●教育機関（スクール SW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●精神障害者復帰施設（生活支援員、生活相談員） ●居宅介護事業所（障害者居宅介護従事者、生活相談員） ●移動支援事業所（障害者居宅介護従事者、生活相談員） ●民間企業（就労支援）

大学院

社会福祉士・精神保健福祉士

年次	社会福祉士・精神保健福祉士科目	学科必修科目	学科独自科目	一般教養科目・外国語科目・文化講座
4年次	ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門) 精神保健福祉援助演習Ⅱ(専門) 精神保健福祉援助演習Ⅲ(専門) 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ・Ⅲ 精神保健福祉援助実習	卒業論文 専門演習Ⅱ A・Ⅱ B	専門特別実習	
3年次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門) 精神保健福祉制度論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(専門) 精神障害リハビリテーション論 刑事司法と福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ(専門)・Ⅵ(専門) ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門) 精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門) 現代の精神保健との課題と支援Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅰ ソーシャルワーク実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	専門演習Ⅰ A・Ⅰ B	スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2年次	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 権利擁護を支える法制度 保健医療と福祉 ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ(専門) 社会保障Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 社会福祉調査の基礎 精神医学と精神医療Ⅰ・Ⅱ 貧困に対する支援 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	福祉英語Ⅱ	社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1年次	社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ・Ⅱ(専門) 医学概論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 心理学と心理的支援 高齢者福祉 社会学と社会システム 障害者福祉	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ 福祉英語Ⅰ 基礎演習	女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	

※ 4年間の履修によって社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

<社会福祉士・保育士：目指す職業と履修モデル>

※ SW:ソーシャルワーカー

児童福祉系	福祉行政系 (地方公務員)	女性福祉系
<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所（保育士） ●病児・病後児保育（保育士） ●病棟保育（保育士） ●児童厚生施設（児童厚生員、保育士） ●乳児院（児童指導員、保育士、家庭支援専門相談員） ●児童養護施設（家庭支援専門相談員、児童指導員、保育士） ●福祉型・医療型児童発達支援センター（児童相談員・保育士） ●福祉型・医療型障害児入所施設（児童指導員、保育士） ●自立援助ホーム（児童指導員） ●児童自立支援施設（児童生活支援員） ●教育機関（スクールSW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童相談所（児童福祉司） ●一時保護所（児童指導員、保育士） ●児童家庭支援センター（家庭支援専門員） ●公立保育所（保育士） ●福祉事務所（母子自立支援員） ●公務員（男女共同参画課） 	<ul style="list-style-type: none"> ●母子生活支援施設（母子支援員、少年指導員、保育士） ●婦人保護施設（生活指導員） ●民間シェルター（ケースワーカー） ●男女共同参画センター ●外国人女性への支援機関（相談員）

大学院

社会福祉士・保育士

4 年 次	3 年 次	2 年 次	1 年 次	卒業論文 専門演習ⅡA・ⅡB	専門特別実習	一般教養科目・外国語科目・文化講座	
ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門) 保育実践演習Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門) ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(専門) 刑事司法と福祉 ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門) ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門) ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク実習	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 保健医療と福祉 社会保障Ⅰ・Ⅱ 社会福祉調査の基礎 貧困に対する支援 福祉サービスの組織と経営 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ(専門) ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの基礎と専門Ⅰ・Ⅱ(専門) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 高齢者福祉 障害者福祉 児童・家庭福祉 医学概論 心理学と心理的支援 社会学と社会システム	保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ	専門演習ⅠA・ⅠB		スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論
	乳児保育Ⅱ 子育て支援 子どもの食と栄養 保育実践演習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所)	保育者論 子どもの保健 子ども家庭支援論 子どもの理解と援助 保育の計画と評価 障害児保育 乳児保育Ⅰ 社会的養護Ⅰ・Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 子どもの健康と安全 保育の理解と方法-音楽表現 保育の理解と方法-運動遊び 保育の理解と方法-児童文化 レクリエーション援助法 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅰ(施設)	保育原理 教育原理 保育の心理学 保育内容総論 保育の理解と方法-音楽基礎 保育の理解と方法-造形基礎 保育の理解と方法-造形表現 保育内容-健康 保育内容-人間関係 保育内容-環境 保育内容-言葉 保育内容-表現	福祉英語Ⅱ	社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉		女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論
				ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ 福祉英語Ⅰ 基礎演習			
				社会福祉士・保育士科目	学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

※ 4年間の履修によって保育士資格を取得できる。